

電 気 事 業 者 排 出 量 削 減 計 画 書

(宛先) 京都府知事	平成27年7月27日
住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地） 大阪府中央区平野町四丁目1番2号	氏名（法人にあっては、名称及び代表者の氏名。記名押印） 大阪ガス株式会社 代表取締役社長 本荘 武宏 電話 06 - 6205 - 4671

京都府地球温暖化対策条例第45条第1項（第45条第2項）の規定により提出します。			
該当する事業者要件	<input type="checkbox"/> 電気事業法第2条第1項第2号に規定する一般電気事業者 <input checked="" type="checkbox"/> 電気事業法第2条第1項第8号に規定する特定規模電気事業者		
事業の概要	自社発電所での発電電力及び他社からの購入電力を用いて、関西電力管内の弊社グループ会社に電力供給を行っています。		
自社発電施設の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無		
地球温暖化対策の基本方針	大阪ガス環境方針の中で、以下の環境行動に積極的に取り組み、環境負荷の一層の低減、汚染の予防および生物多様性への対応を図ることとしており、その内容の実現を目指して環境マネジメントシステムを構築、運用しています。 I. 大阪ガスグループの事業活動における環境負荷の軽減 大阪ガスグループの事業活動が環境に与えている負荷を軽減する。そのために環境マネジメントの強化を図り、グループ各社での省資源、省エネルギーを推進する。 II. 大阪ガスグループの製品・サービスによる環境負荷軽減への貢献 大阪ガスグループは、環境にやさしい天然ガスをはじめ環境負荷軽減に寄与する製品・サービスを提供し、お客さまとともに環境負荷の軽減に努める。そのために、より環境保全に貢献する技術・システムの開発・普及を図るとともに資源の再利用を促進する。 III. 地域および国内外における環境改善への貢献 大阪ガスグループが事業活動を営む地域および国内外における環境改善に取り組む。		
地球温暖化対策の推進体制	大阪ガスグループは、社長のもと、役員などがCSRに関する活動計画および活動報告の審議を行う「CSR推進会議」、当社グループのCSR活動を統括する役員「CSR統括」のもと、組織長が委員となり組織横断的な調整・推進を行う「CSR委員会」を設置し、適切かつ積極的な活動の実践に努めています。		
電気の供給に伴う温室効果ガスの排出の状況	年度	温室効果ガスの排出量（千トン）	把握率（パーセント）
	平成26年度（実績）	—	—
	平成27年度（目標）	—	—
電気の供給に伴う温室効果ガスの排出の量の削減を図るための措置及び目標	年度	温室効果ガスの排出係数（キログラム/キロワット時）	
	平成26年度（実績）	—	
	平成27年度（目標）	0.453	
	平成32年度（目標）	極力低減	
	長期的目標（平成42年度）	極力低減	
（目標に係る措置の考え方） 高効率の天然ガス火力発電所、総合効率の高い電源コージェネ、太陽光発電所等からの電気の調達を図ることにより、温室効果ガスの排出量の削減に努めます。			
再生可能エネルギーの供給の量の割合を拡大を図るための措置及び目標	再生可能エネルギーによる発電量の割合の拡大に係る措置及び目標		
	年度	再生可能エネルギー発電量	再生可能エネルギー導入率
	平成26年度（実績）	—（千キロワット時）	—（パーセント）
	平成27年度（目標）	3（千キロワット時）	0.48（パーセント）
	平成32年度（目標）	極力活用（千キロワット時）	—（パーセント）
	長期的目標（平成42年度）	極力活用（千キロワット時）	—（パーセント）
	（目標に係る措置の考え方） 太陽光発電所からの電気の調達を図ることにより、再生可能エネルギーによる発電量の割合の拡大に努めます。		
	再生可能エネルギーによる環境価値の量の割合の拡大に係る措置及び目標		
	年度	再生可能エネルギー環境価値量	再生可能エネルギー利用率
	平成26年度（実績）	—（千キロワット時）	—（パーセント）
平成27年度（目標）	3（千キロワット時）	0.48（パーセント）	
平成32年度（目標）	極力活用（千キロワット時）	—（パーセント）	
長期的目標（平成42年度）	極力活用（千キロワット時）	—（パーセント）	

	<p>(目標に係る措置の考え方) 太陽光発電所からの電気の調達を図ることにより、再生可能エネルギーによる発電量の割合の拡大に努めます。</p>	
特 記 事 項	<p>(未利用エネルギー等による発電量の割合の拡大を図るための措置及び目標) 清掃工場等の廃棄物発電からの電力の調達など、未利用エネルギー等による発電量の割合の拡大に努めていきます。</p>	
	<p>(火力発電所における熱効率の向上を図るための措置及び目標) 相対的に効率の高い発電方式の採用や適切な運転・維持管理等によって、環境にやさしい発電所として省エネルギーとCO2排出量の抑制に貢献しています。</p>	
	<p>(府内の電気需要者に対する地球温暖化の防止に資する取組) お客さま先での省エネ、CO2削減に貢献できるよう、電力供給のみならず、天然ガスの普及拡大をベースに高効率な機器・システム、省エネサービス、再生エネルギーとの組み合わせなどのご提案を行なっています。</p>	
	<p>(その他の地球温暖化の防止に貢献する取組) 従業員一人ひとりが不要照明・不要OA機器等の消灯・電源オフや空調温度の適正化等、地道な省エネルギー活動に取り組んでいます。さらに、省エネ型照明への取り替えや高効率空調機への切り替え等によって、CO2排出量の削減に努めています。</p>	
連 絡 先	担 当 部 署	
	担 当 者 氏 名	
	住 所	
	電 話 番 号	
	フ ァ ク シ ミ リ 番 号	